

アスペ・エルデの会 2009年度日本財団助成事業 事業報告
発達障害のある子どもの両親のためのガイダンスプログラム普及事業
助成金額160万円 総事業費約200万円

①医師向けサポートブックの作成、配布

発達障害の診断と薬の処方、診断を受けた後、その障害の特性や子どもやその家族は何をすればよいのか支援につなげていく道筋を作っていくことをしてほしい、という要望のもとで作成した。

全国の医師会や発達障害者支援センターへの配布をした。

また浜松、名古屋、新潟の医局の研修会でこのサポートブックのガイダンスを行った。



②家族支援(ペアレントトレーニング)のプログラムの実施

ペアレントトレーニングを2007年度から日本財団助成事業としてプログラム開発を行ってきた。その結果として、カルチャーセンターでの子育て支援講座も継続して実施でき、現在愛知、岐阜の5カ所で講座を開催している。

今回は各地域での実施に向けて、ペアトレを実施する支援者や親の会のリーダーとなる人に向けて、ガイダンスと実際の取り組みを体験しながら、そのノウハウのレクチャーを行った。近辺だけでなく、長野や大阪などの地域からの参加もあった。

4月~12月 コンテンツの作成および修正(デザイナーと何回も打ち合わせを行ったため、何度の修正など時間を要した。)

1月~2月 印刷(4000部)、研修会でのレクチャー(3カ所)

3月 ペアトレワークショップの実施

サポートブックの配布(これまで作成したペアトレのワークブックの活用)

配布は全国の医局および発達障害者支援センター

4月中旬に 報告書を作成し提出